2016-10-15(土)

手賀沼親子自然観察会ー手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）

手賀沼水生生物研究会　ホームページ： http://suiken.teganuma.org/

目的　　手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。

日時・場所　　2016年10月15日（土）10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと

プログラム・概要・ルート等

- 鈴木代表から本日の予定、講師の魚類研究者、川本朋慶さんから挨拶。
- モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。
- 講師の川本さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種（外国産、国内移入種）はどれか、どこから来たのか、特定外来種は飼えないことなど。
- 我孫子市鳥の博物館友の会会長、木村稔さんから、これから手賀沼で見られる鳥類についてのお話。

参加対象、参加人数　小学生以下は親子参加。大人17名、子ども18名、合計35名、
スタッフ12名(うち1名は講師)の47名

参加者や 実施団体の 感想

- 雨の多い秋だが、たまたま雨が降らない日が続き、用水路の水位が非常に低かった。
  それでも、十分な数の魚が捕獲できた。
- 参加者は季節柄少なめだったが、13組中6組がリピーターだった。ご参加感謝。
- 魚種は相変わらず少なめ。この10月に特定外来生物指定されたコウライギギの幼体が捕獲された。ドジョウも幼体のみで成体は捕獲できず。エビ類はやはり外来種のシナヌマエビが優占種になっている。ハゼ科の減り方は衝撃的で数匹しか捕獲できず。
- 導水ビジターセンター寄り水路にコブハクチョウ3羽が棲みつき、人を威嚇。
- 当日確認した生き物/
  ギンブナ、モツゴ、ツチフキ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、ドジョウ、
  タイリクバラタナゴ、メダカ、カダヤシ、コウライギギ1、スジエビ、テナガエビ、シナヌマエビ、
  アメリカザリガニ、ミシシッピアカミミガメ幼体1、アマガエル。

写真提供:長妻輝夫氏

モンドリ

タモ網でガサガサ

モンドリでの成果

ミナミメダカ

講師:川本さんの説明

講師:木村さんのお話し

モツゴ

ミナミメダカ

タイリクバラタナゴ

ギンブナ

ヨシノボリ（クロダハゼ）

ツチフキ
0
1cm
2
3
4
5
6
7

コウライギギ　(2016/10/1より特定外来生物に指定)

テナガエビ

シナヌマエビ

ミシシッピアカミミガメ　(ミドリガメ)